新日軽 ファインポートワイドR-L 取付説明書

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本取付説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この取付説明書および同梱されている「取り扱いの手引き」は施工後必ず施主様へお渡しください。
- **横連棟タイプについての納まり図は本取付説明書をご覧いただき、取付方法は別途各々の取付説明書をご覧ください。**

○注意(設置場所・設置位置について)

- 本品は建築基準法対応品です。建築基準法では、各地域毎の基準風速及び積雪量を設定しておりますので、各地域の所轄窓口でご確認ください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 柱移動は弊社指定範囲内にしてください。
- 本品はサイドパネルの取付けはできません。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日～1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

■ 基準風速(V_0)、積雪量対応表

タイプ＼サイズ		全サイズ
全タイプ	基準風速V_0	34m/s
	積雪（比重0.2）	600N/m²(30cm)
	積雪（比重0.3）	600N/m²(20cm)

注＊地表面粗度区分Ⅲ地区にて算出
＊一般地域の積雪比重は0.2にて算出
＊積雪地域の積雪比重は0.3にて算出

— 目 次 —

組立・施工の前に ・・・・・1
注意(設置場所・設置位置について) ・・・・・1
施工時の注意事項 ・・・・・1
梱包明細 ・・・・・2
構造説明図 ・・・・・3
納まり図 ・・・ 4～5
基礎の施工 ・・・・・6
はりの取付け ・・・・・6
棟・後枠・母屋の取付け ・・・・・7
側枠・たる木の取付け ・・・・・7
コンクリートの打ち込み ・・・・・8
屋根材および押え材の取付け ・・・ 8～9
雨樋の組立 ・・・・・9
屋根補強材の取付け ・・・・・10
施工完了時の注意事項 ・・・・・10
オプション品のご紹介 ・・・・・10
連結部の組立 ・・ 10～12

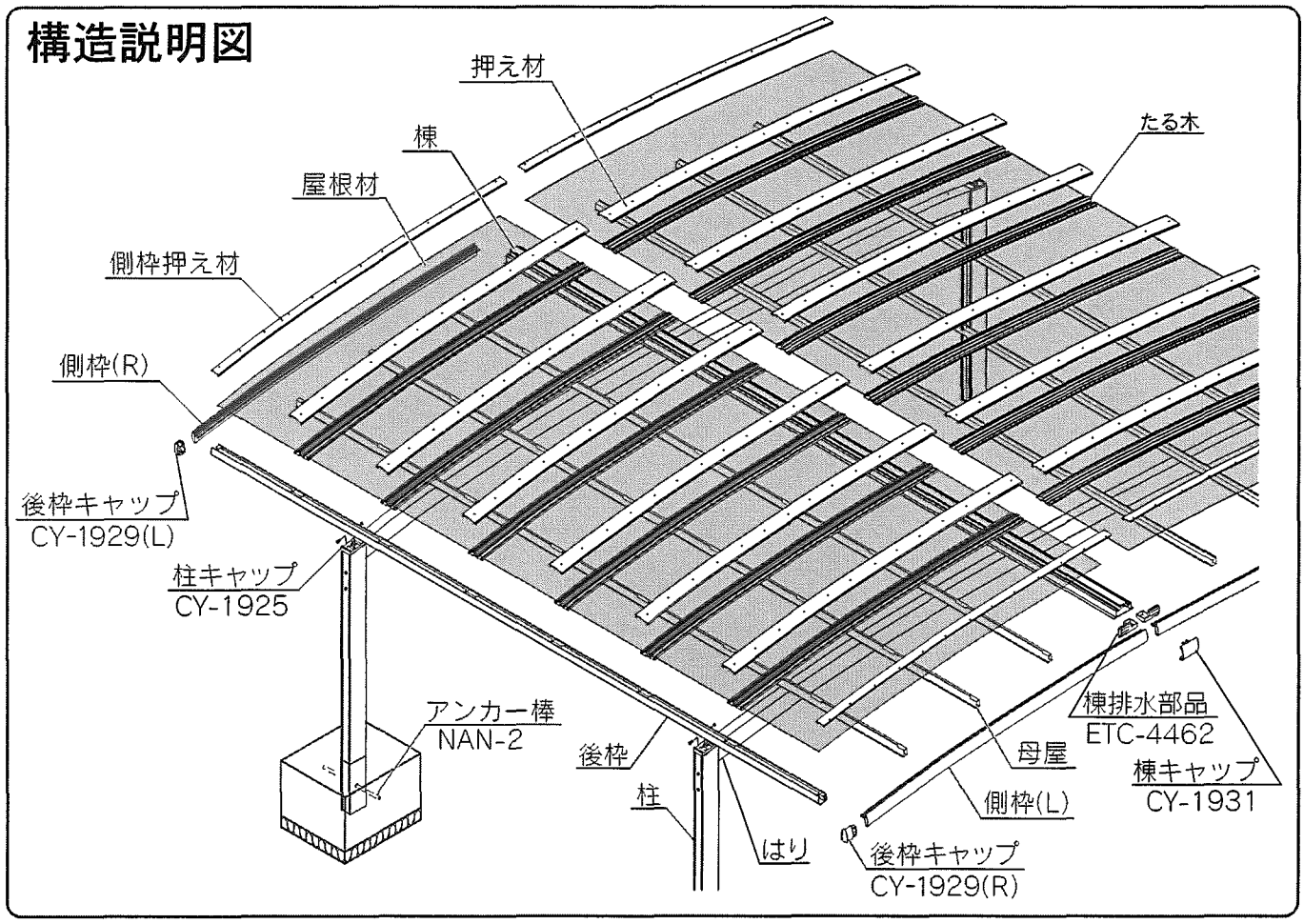
梱包明細

部材セット明細

梱包名称	部材・部品名称	数量
標準柱	柱	2(2本入り)、1(1本入り)
長柱		
はり	はり	2(2本入り)、1(1本入り)
側枠・たる木	側枠	左右各1
	たる木	6(奥行51用)、7(奥行58用)
	押え材	側枠用2、たる木用6(奥行51用)、たる木用7(奥行58用)
棟・後枠セット	後枠・棟　　たて樋：L=3500 (ETC-2438)	棟1、後枠2、 たて樋 2
母屋セット	母屋	4(間口36・42用)、6(間口48～54用)、8(間口60用)
柱・はりジョイナー		2(2本入り)、1(1本入り)
屋根材	ポリカーボネート板・熱線遮断ポリカーボネート板、クリアマットポリカ板	3(3枚入り)、4(4枚入り)
	アルミ板	2(2枚入り)、3(3枚入り)

部品箱明細

組立手順	部品名称		部品記号	数量									
				36・42×51用標準	36・42×58用標準	48～60×51用標準	48～60×58用標準	36・42×51用連棟	36・42×58用連棟	48～60×51用連棟	48～60×58用連棟	36・42×14用延長	48～60×14用延長
①基礎の施工	アンカー棒		NAN-2	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	注意表示ラベル (30cm)		ML-1066	1	1	1	1						
②はりの取付け	緩み止めM8×20六角 セムスボルト		BN-1292-01	28	42	28	42	28	42	28	42	14	14
	前後枠ビース		LB-1216	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	φ4×12トラス (タッピン3種)		3TA4×12S	9	13	9	13	9	13	9	13	5	5
	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	柱キャップ		CY-1925	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
③後枠・棟・母屋の取付け	M8×20六角ボルト		BH08×020S	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	M8六角ナット		NNA08S	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	M8用平座金		ZC08S	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	M8用バネ座金		ZF08S	4	6	4	6	4	6	4	6	2	2
	φ4×10トラス (タッピン3種)		3TA4×10S	21	31	37	55	21	31	37	55	11	19
	母屋補強金具		HO-2179	16	24	32	48	16	24	32	48	8	16
	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	16	24	32	48	16	24	32	48	8	16
	孔ふさぎシール		NM-73	20	30	36	54	20	30	36	54	10	18
④側枠・たる木の取付け	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	66	74	98	110	58	66	86	98	9	17
	後枠キャップ		CY-1929	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2						
	棟キャップ		CY-1931	2	2	2	2						
	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	2	2	2	2						
	棟排水部品		ETC-4462	左右各2	左右各2	左右各2	左右各2						
	コーキング剤		NBC-256	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑤面材及び押さえ材の取付け	φ4×10トラス (タッピン2種)		2TA4×10S	164	184	260	292	144	164	228	260	44	68
連棟用・延長用	前後枠連結ブラケット		LB-1217					2	2	2	2	2	2
	母屋連結ブラケット		UB-1018					4	4	8	8	4	8
	棟連結ブラケット		UB-1072					1	1	1	1	1	1
	縦連棟カバー		CY-1953					1	1	1	1	1	1
	縦連棟パッキン		BC-5673					1	1	1	1	1	1
	止水パッキン		BU-1236					4	4	4	4	4	4
	M8×14六角ボルト		BH08×014S					8	8	8	8	8	8
	M8用平ワッシャー		ZC08S					8	8	8	8	8	8
	M8用バネ座金		ZF08S					8	8	8	8	8	8
	M8用六角袋ナット		NFD08S					8	8	8	8	8	8
	Φ4×10トラス (タッピン3種)		3TA4×10S					17	17	33	33	17	33
	M8×14六角ボルト		BH08×014S					8	8	8	8	8	8
	M8用平ワッシャー		ZC08S					8	8	8	8	8	8
	M8用バネ座金		ZF08S					8	8	8	8	8	8
	ゴムワッシャー付きテクスビス		BN-310-01					4	4	4	4	4	4
⑦雨樋の組立て	雨樋部品セット (ETC-4101)	落し口	ETC-2646	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		落し口パッキン	ETC-2669	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		ドレンエルボ	ETC-4077	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		エルボー	ETC-2435	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		固定バンドA	ETC-2436	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
		固定バンドB	ETC-2437	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		φ4×12トラス (タッピン3種)	3TB4×12S	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
		接着剤	BC-2659	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2


構造説明図
押え材
棟
屋根材
たる木
側枠押え材
側枠(R)
後枠キャップ
CY-1929(L)
柱キャップ
CY-1925
アンカー棒
NAN-2
後枠
柱
はり
母屋
側枠(L)
棟排水部品
ETC-4462
棟キャップ
CY-1931
後枠キャップ
CY-1929(R)

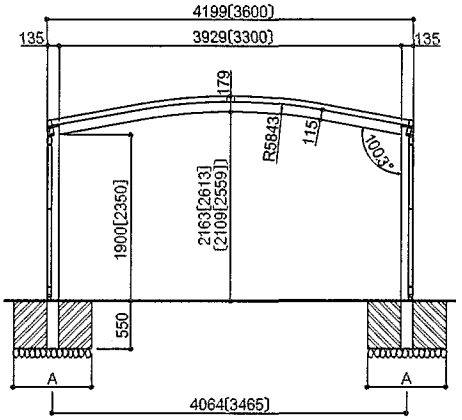
納まり図(単体、連棟)

ファインポートワイドR-L納まり図

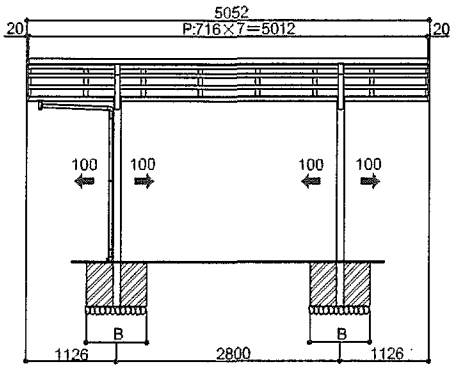
・本図は間口42、54タイプを示す。
36タイプは[ ]内、48タイプは( )内、51タイプは「」内、
54タイプは《》内、60タイプは【】内に示す。
・本図は標準柱タイプを示し、長柱は[ ]内、
に示す。
・➡は柱移動範囲を表します。

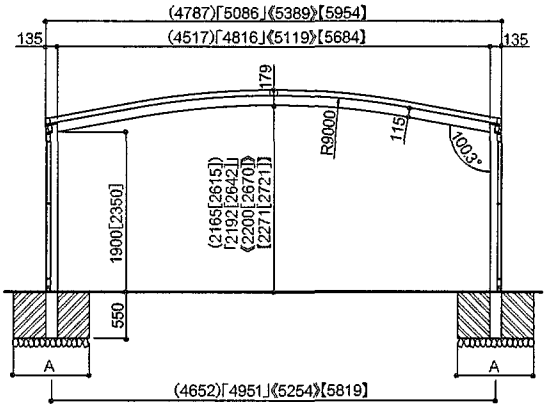
寸法表(基礎寸法)

奥行き / 間口	51		58	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
36	600	600	550	550
42	700	700	600	600
48	800	800	700	700
51	850	850	750	750
54	850	850	800	800
60	1000	1000	850	850

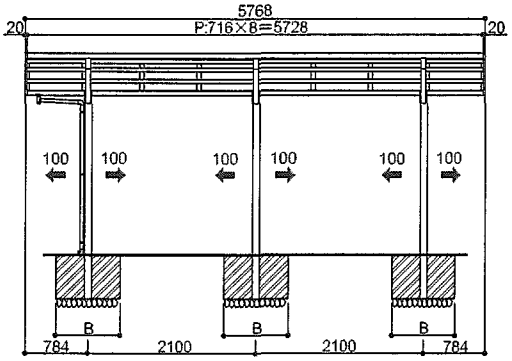


[奥行:51]





[奥行:58]

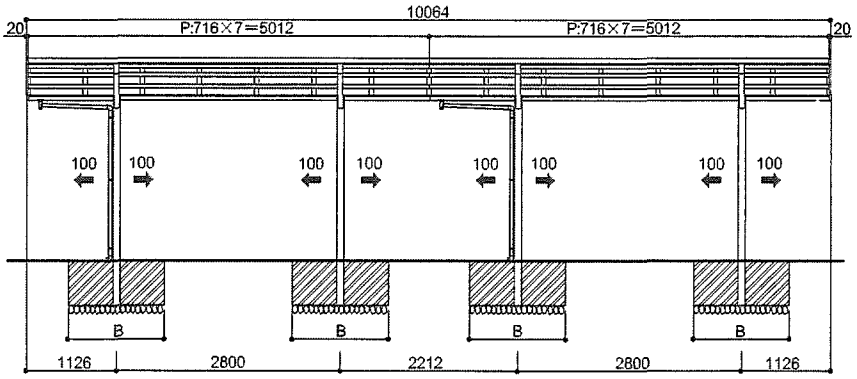


ファインポートワイドR-L連棟納まり図

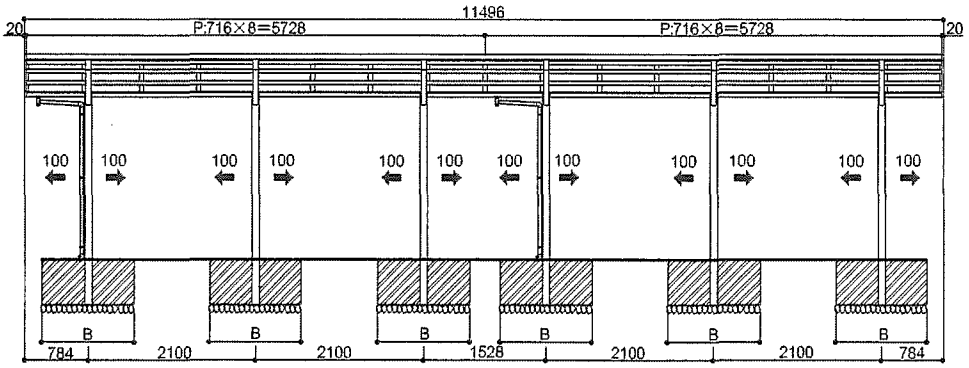
寸法表(基礎寸法)

奥行き / 間口	51+51		58+58	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
36	600	600	550	550
42	700	700	600	600
48	800	800		

[奥行き:51+51]



[奥行き:58+58]



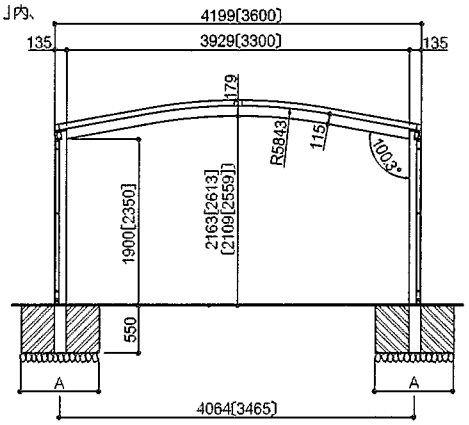
納まり図(延長、横連棟)

ファインポートワイドR-L延長納まり図

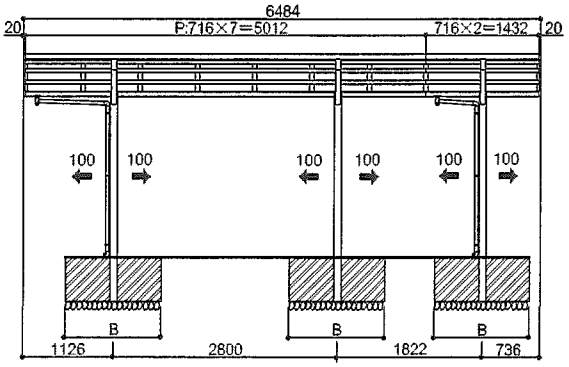
・本図は間口42、54タイプを示す。
36タイプは[ ]内、48タイプは( )内、51タイプは「 」内、
54タイプは《 》内、60タイプは【 】内に示す。
・本図は標準柱タイプを示し、長柱は[ ]内、
に示す。
・➡は柱移動範囲を表します。

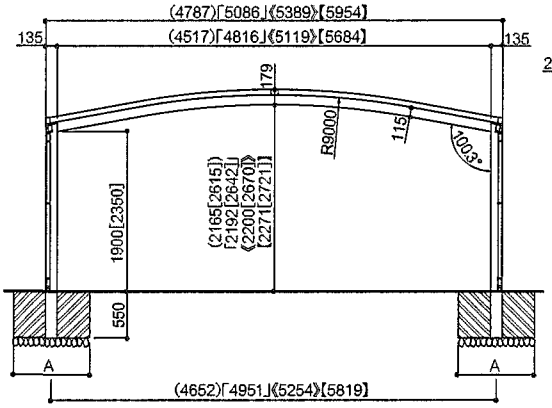
寸法表(基礎寸法)

奥行き / 間口	51+14		58+14	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
36	600	600	550	550
42	700	700	600	600
48	800	800	700	700
51	850	850	750	750
54	850	850	800	800
60	1000	1000	850	850

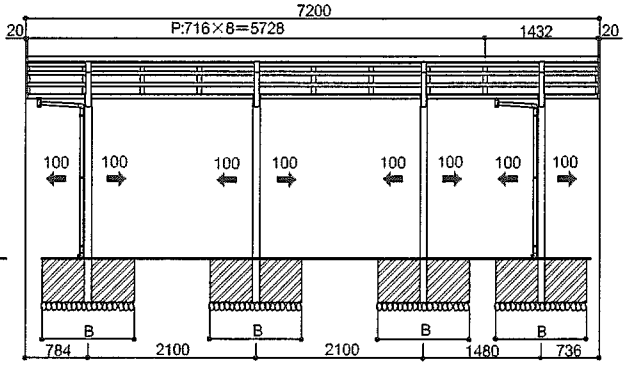


[奥行き:51+14]

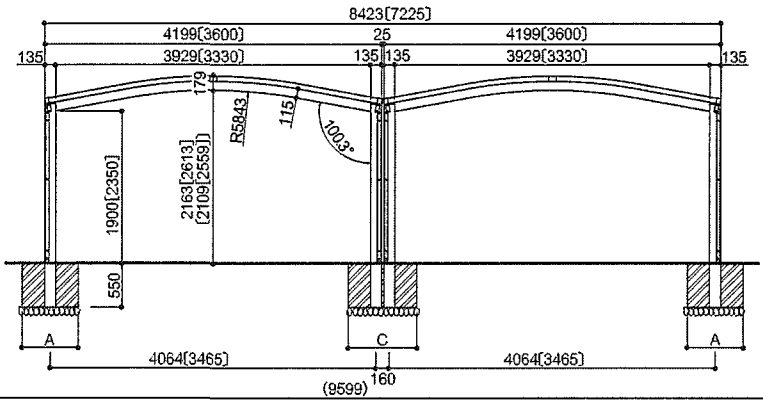




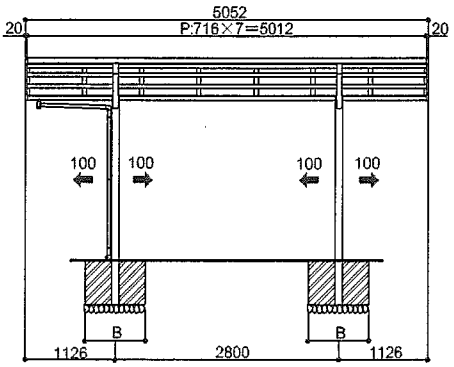
[奥行き:58+14]

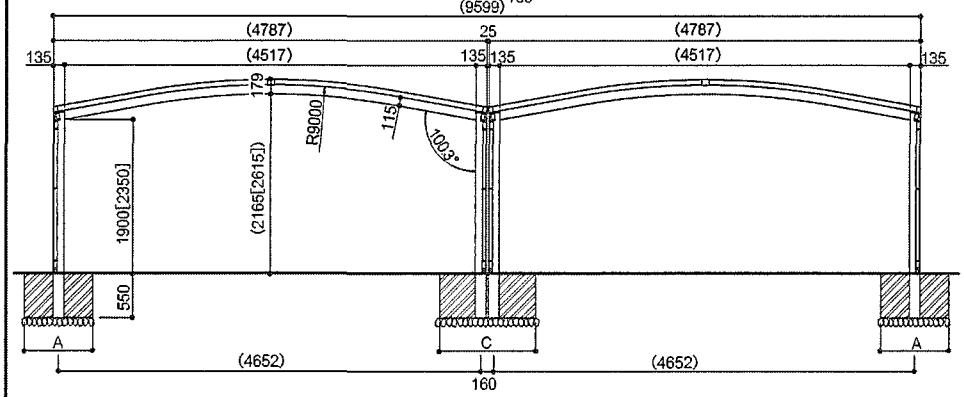


ファインポートワイドR-L横連棟納まり図

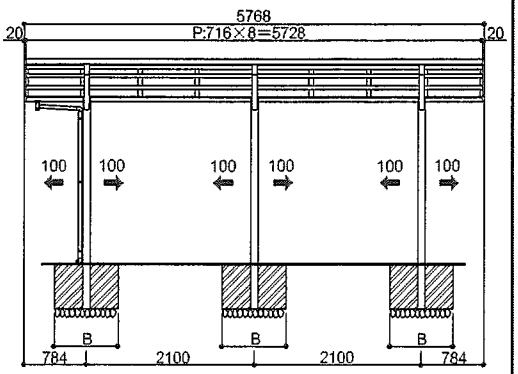


[奥行:51]





[奥行:58]



寸法表(基礎寸法)

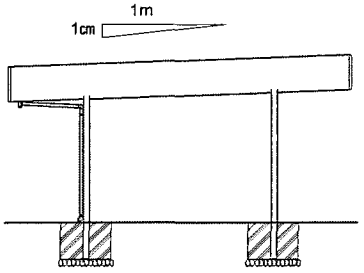
奥行き / 間口	51		58	
	A×B寸法	C×B寸法	A×B寸法	C×B寸法
36+36	600×600	800×800	550×550	750×750
42+42	700×700	850×850	600×600	800×800
48+48	800×800	950×950		

1 基礎の施工

① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。

② 柱にアンカー棒を差し込んでください。

ポイント
- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



③ 柱にはあらかじめ積雪20cm用のラベルが貼り付けてあります。積雪30cmの場合は、そのラベルをはがして部品箱内に入っているラベルを貼り付けてください。

2 はりの取付け

① 柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、セムスボルトで固定してください。
② 柱キャップを取付けてください。

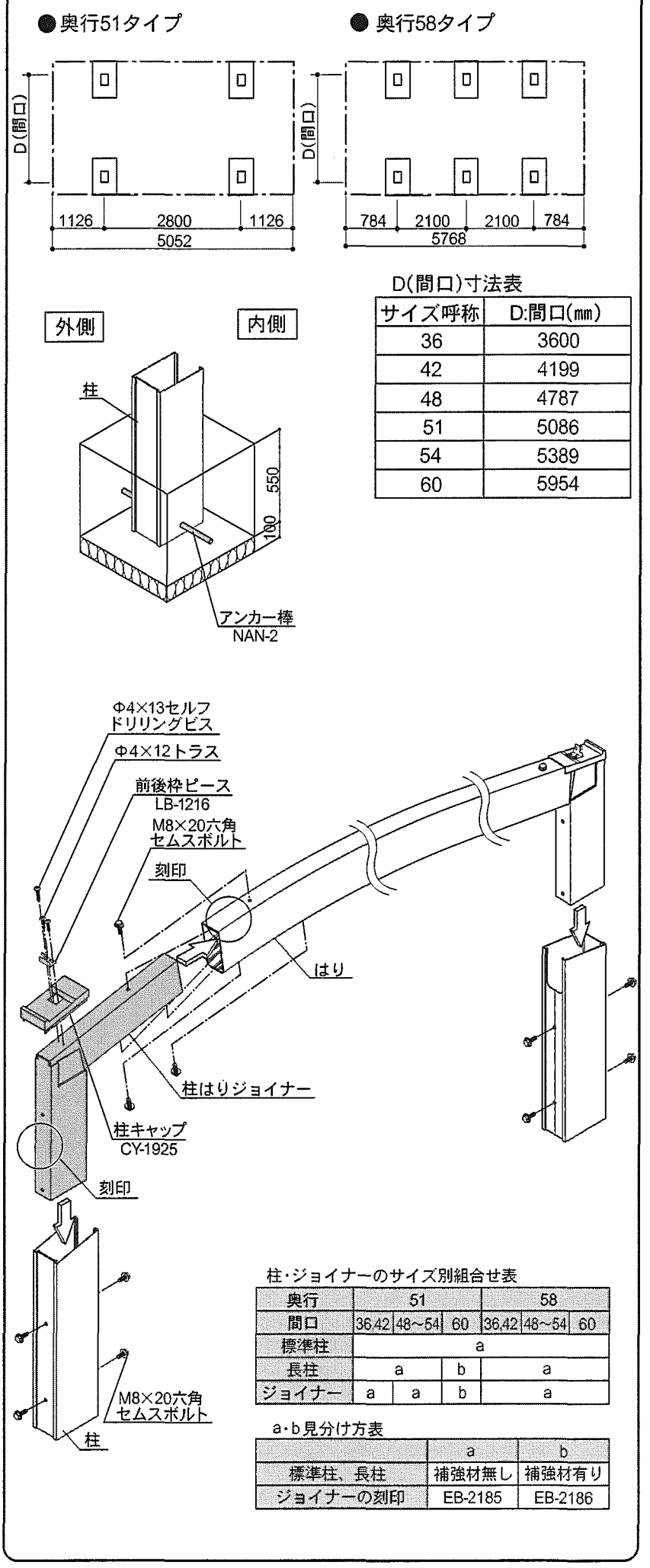
③ 前後枠ピースをビス止めしてください。

! ジョイナーの刻印について
ファインポートワイドRとファインポートワイドR-Lでジョイナーの対応サイズが異なる場合があります。ジョイナーの刻印の部品Noと右下の表をよく見比べ、注意して取付けを行ってください。

! ボルト締め付けの際はインパクトドライバーの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまうことがあります。

! 工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。

! 柱、梁、ジョイナーの組合せを表(右記)で確認し、正しく施工してください。(連棟・延長時)



D(間口)寸法表

サイズ呼称	D:間口(mm)
36	3600
42	4199
48	4787
51	5086
54	5389
60	5954

柱・ジョイナーのサイズ別組合せ表

奥行	51			58		
間口	36,42	48~54	60	36,42	48~54	60
標準柱	a					
長柱	a		b	a		
ジョイナー	a	a	b	a		

a・b見分け方表

	a	b
標準柱、長柱	補強材無し	補強材有り
ジョイナーの刻印	EB-2185	EB-2186

3 棟、後枠、母屋の取付け

①後枠にボルトを通し、はり部に取付けた前後枠ピースへボルトを通しナットで仮止めしてください。
②母屋をはりに取り付けてください。
③母屋補強金具を取り付けてください。
④棟をはりに取り付けてください。

ポイント
●母屋補強金具は、はり中央のノッチを目印に母屋詳細図のように取り付けてください。

ポイント
●後枠に柱中心位置スタンプがあります。このスタンプを参考に位置決めをしてください。　(柱移動時はご注意ください)
●母屋には向きがあります。母屋詳細図を参考に取付けてください。

ポイント
柱移動する場合は母屋に孔加工が必要になります。使用しなくなった孔には孔ふさぎシールを貼付けてください。

4 側枠・たる木の取付け

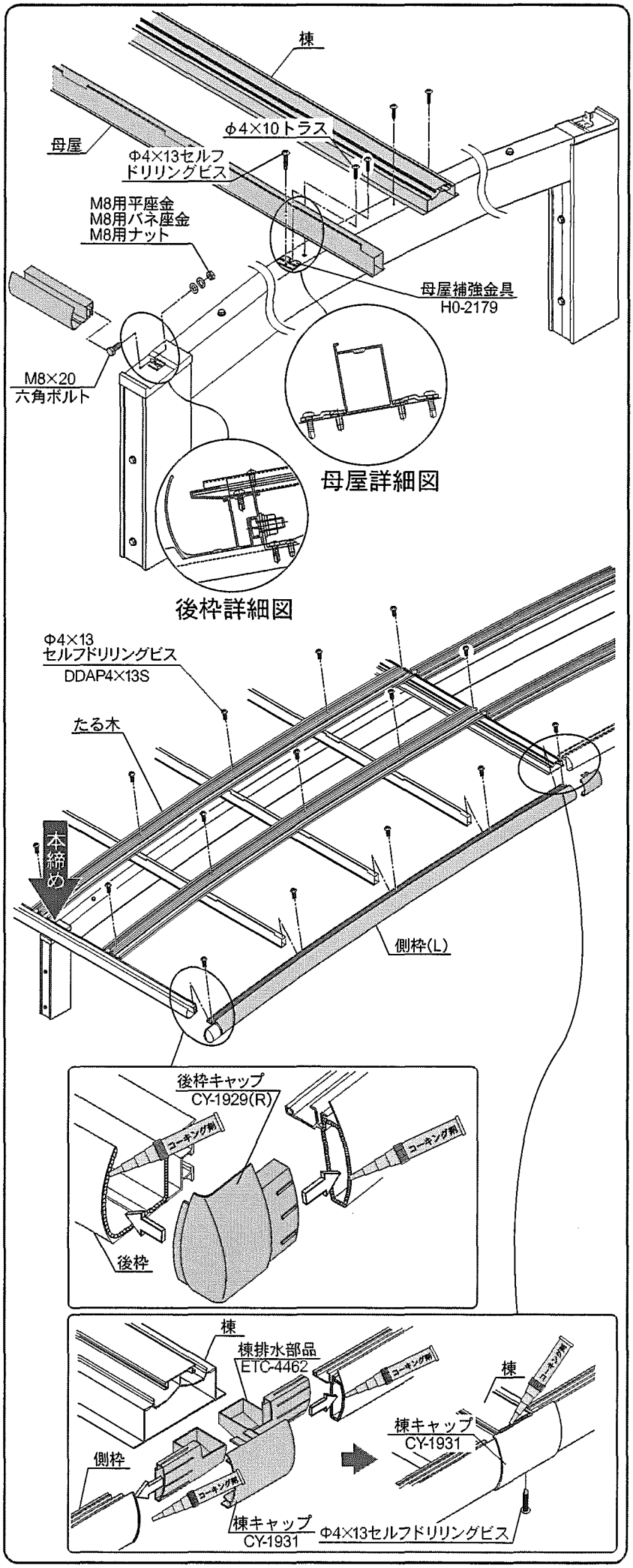
①たる木を棟、後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部に合わせビス止めしてください。後枠は後枠ピースがスライドしますので後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔にビス止めしてください。
②側枠、後枠の両端切口にコーキングを施し、側枠に後枠キャップ、棟排水部品を取付けてください。

ポイント
●後枠キャップには左右があります。

③側枠を棟、後枠・母屋に取付けてください。
④棟キャップを取付けてください。
⑤後枠ピース部のボルトを止めてください。

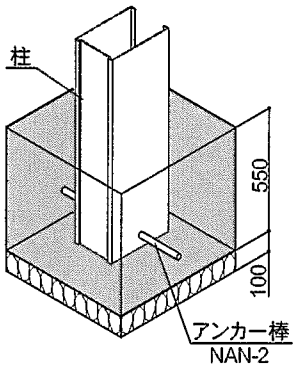
ポイント
●ファインポートワイドR-Lの側枠には左右があります。

ポイント
たる木取付けビスはφ4×13セルフドリリングビスを使用しています。
電動ドライバーをご使用ください。



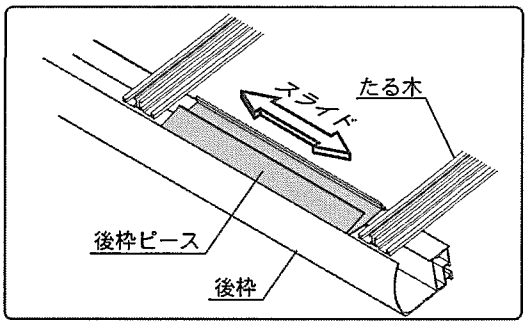
5 コンクリートの打ち込み

① 柱のアンカー棒を確認してください。
② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しくでているか確認してください。
③ コンクリートを流し込んでください。
④ コンクリートが固まるまで養生してください。（4日～1週間程度）



6 屋根材および押え材の取付け

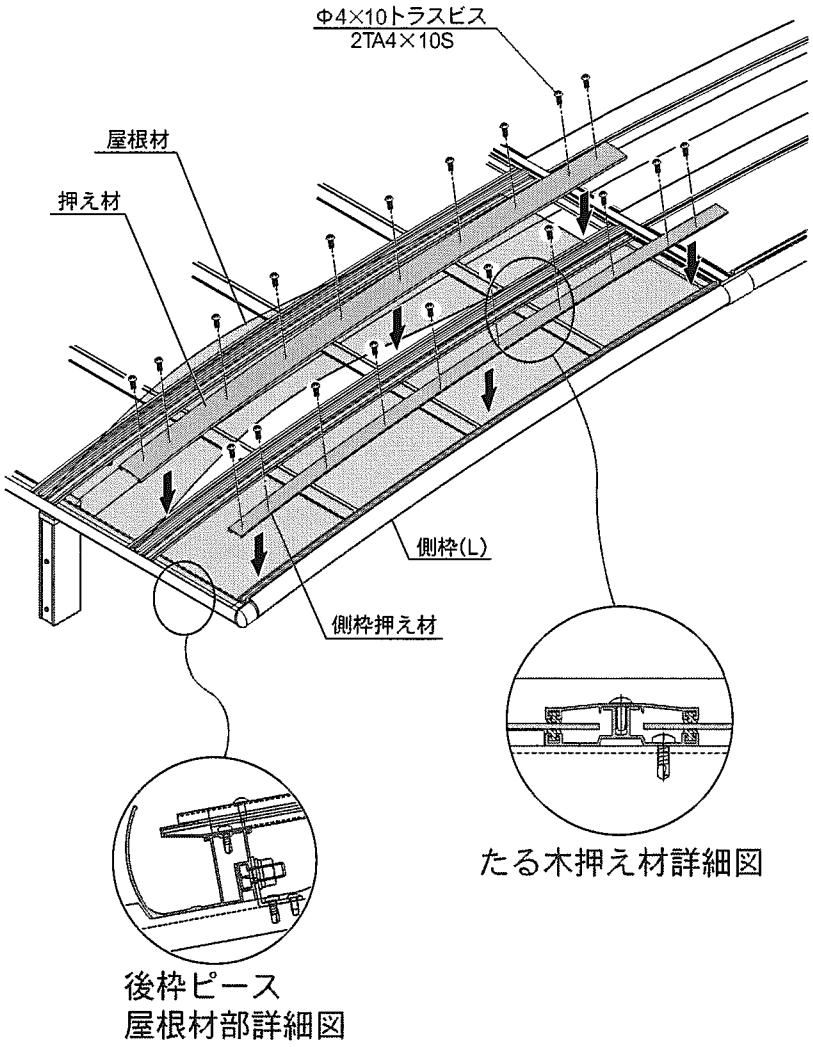
① 後枠の後枠ピースをたる木とたる木の真中に来るよう調整してください。
② 屋根材は先に後枠ピースに突き当たるまで差し込んでから棟側へ入れてください。
③ 棟のビード部に押え材を押し当て、棟側から後枠方向へビス止めしてください。



! 押え材の取付け時にインパクトドライバーは使用しないでください。

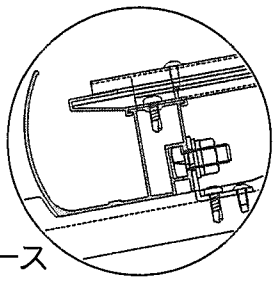
! 押え材取付け時に、ビスのから回りを防ぐために締め付けトルク15kgf･cm以下でビス止めしてください。

! ビスがから回りをした時は、ペンチで垂木の溝を狭くしてから止め直してください。



ポイント

後枠ピース
屋根材部詳細図



屋根材を後枠ピースに押し当てる。

④ 側枠・中間部の押え材が棟ビードへ突当たる部分には、必ずコーキングを施してください。

お願い

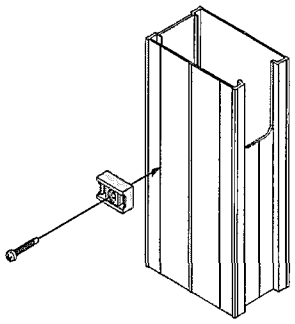
コーキングは確実に行ってください。コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。

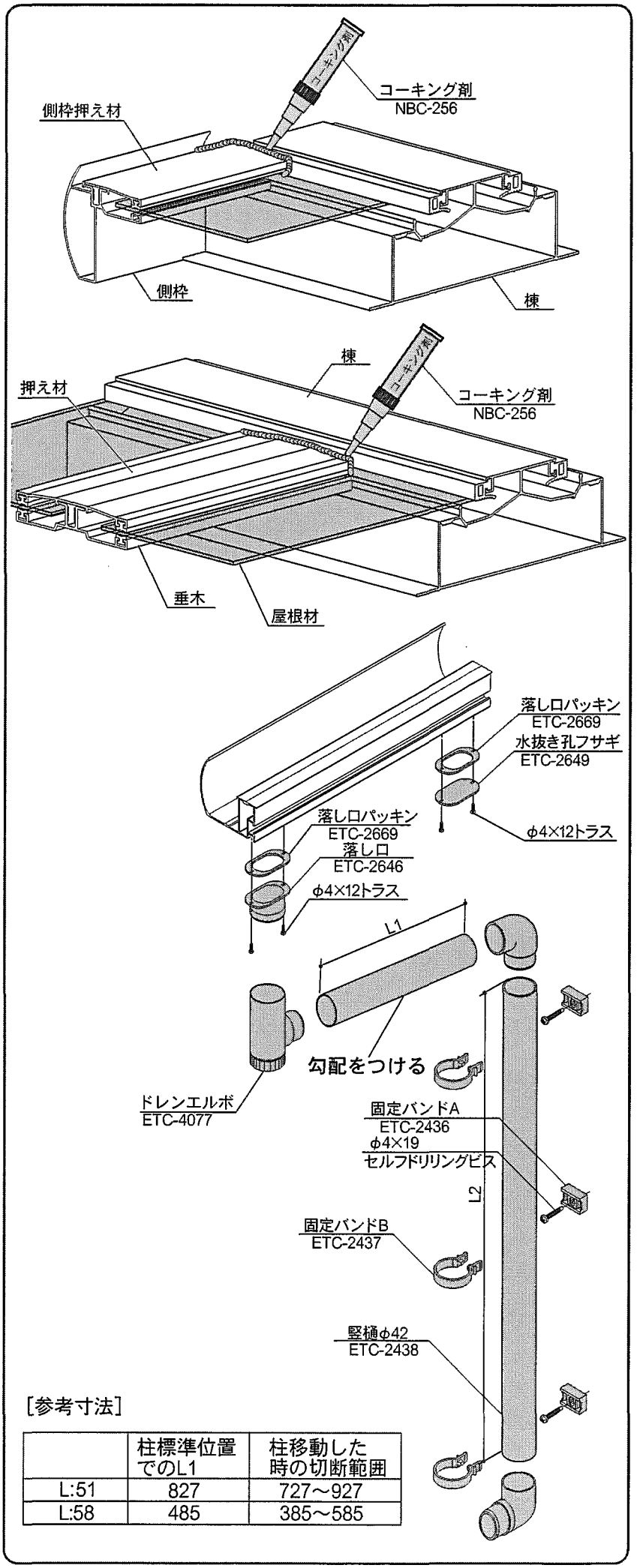
7 雨樋の組立

① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。(L1寸法は、下表を参照ください)
② 後枠の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
④ 柱3ケ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

ポイント

●横樋(L1部分)は勾配をつけてください。
●固定バンドは、下図のように柱の溝にφ4×19セルフドリリングビスで固定してください。





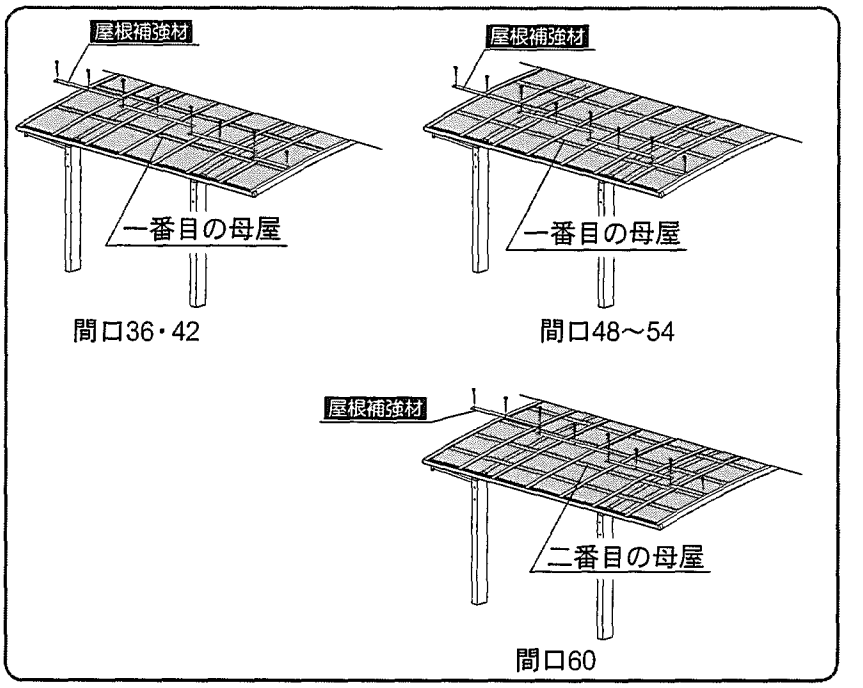
[参考寸法]

	柱標準位置でのL1	柱移動した時の切断範囲
L:51	827	727～927
L:58	485	385～585

8 屋根補強材の取付け

屋根補強材に同梱されているME-1252を参照して、取付けを行ってください。

> ❗ 間口60サイズを設置の場合は、屋根補強材を後枠から2番目の母屋に併設して取付けてください。



○ 施工完了時の注意事項

- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- 「お取扱いの手引き」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工終了後施主様にお渡ししてください。

● オプション品のご紹介

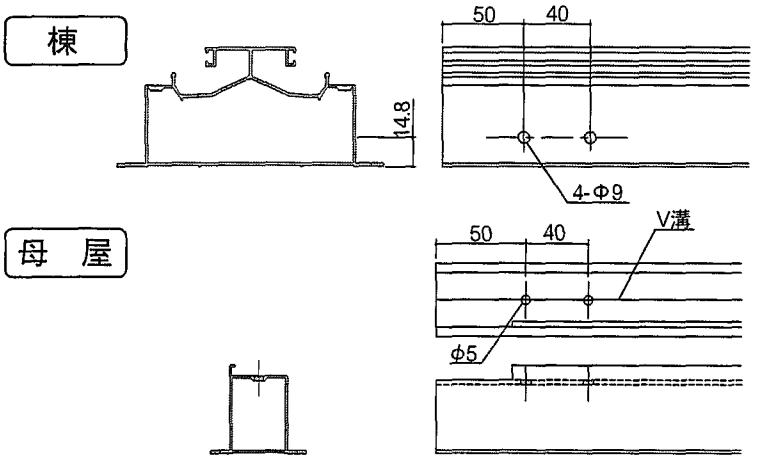
本カーポートには下記のオプションがございます。

①延長部品
②物干し
③連棟部品
④横連棟部品

各梱包内の取付説明書をご覧ください。

連結部の組立(棟・後枠・母屋の連結)

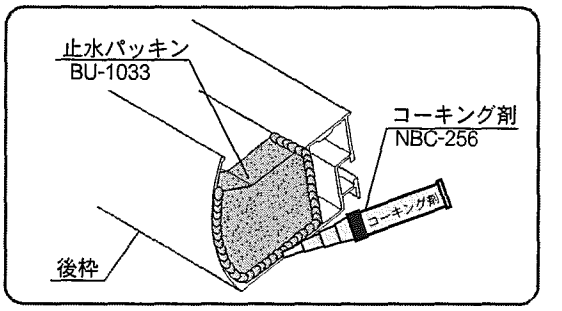
① 連結部の組立て前に、以下の加工を施してください。



② 本取付説明書6ページの基礎の施工、はりの取付けを参照し施工してください。
③ 後枠に止水パッキンを取付けてください。
連結部の後枠切口に止水パッキンを取付けてコーキングをしてください。

● 止水パッキンの取付け

- 後枠に止水パッキンを取付け、充分にコーキング剤を塗布してください。



> ❗ お願い
> - コーキングは確実に行なってください。コーキングが不十分ですと雨漏りの原因になります。

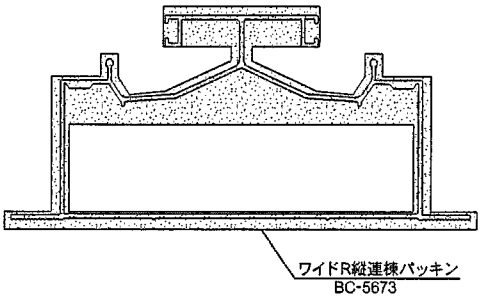
④ 本体側の後枠を柱に仮止めし、母屋、棟をはりに止めてください。
⑤ 棟連結部にパッキンを貼付けてください。

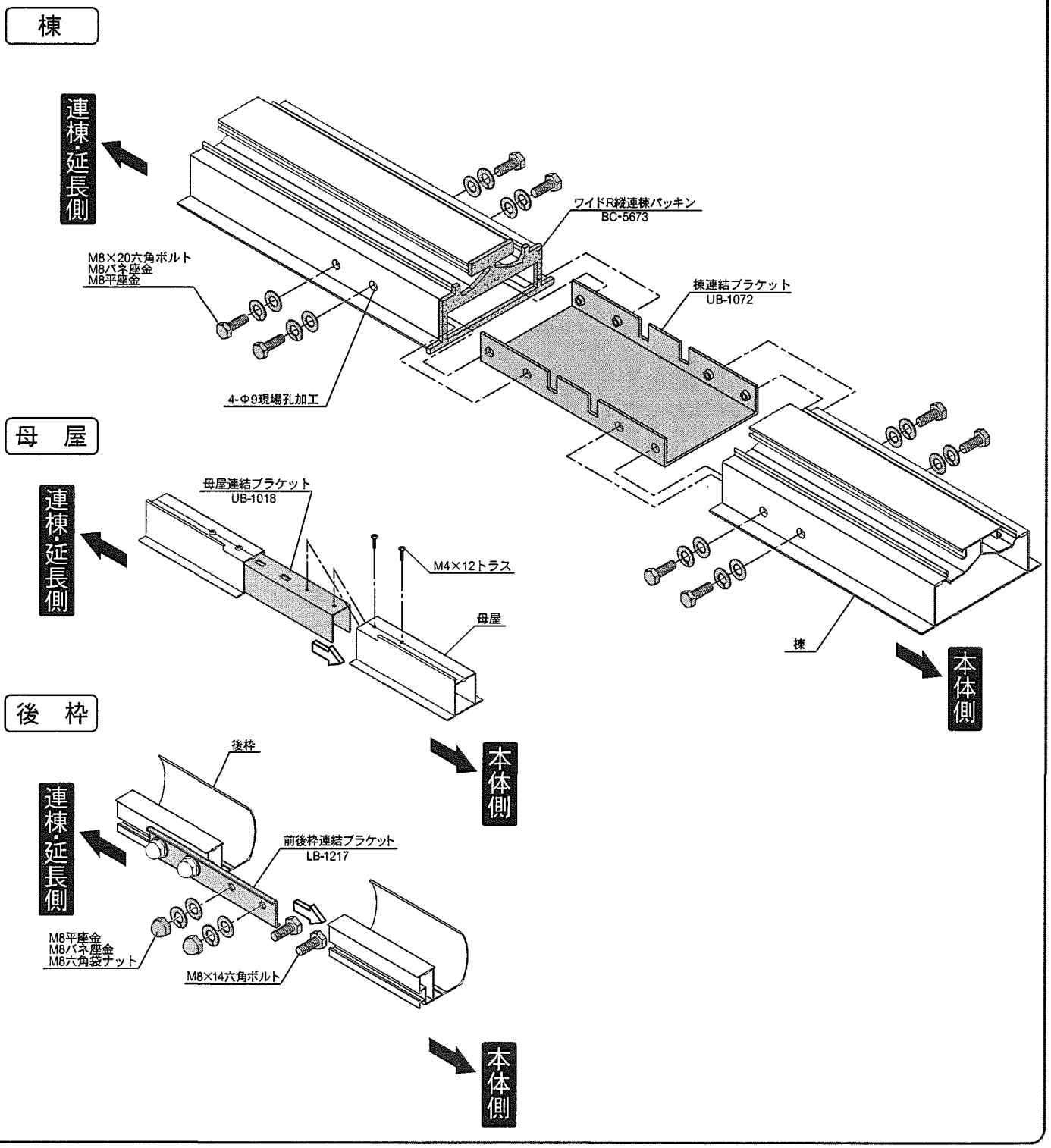
> ● パッキンが飛び出さない様に注意してください。

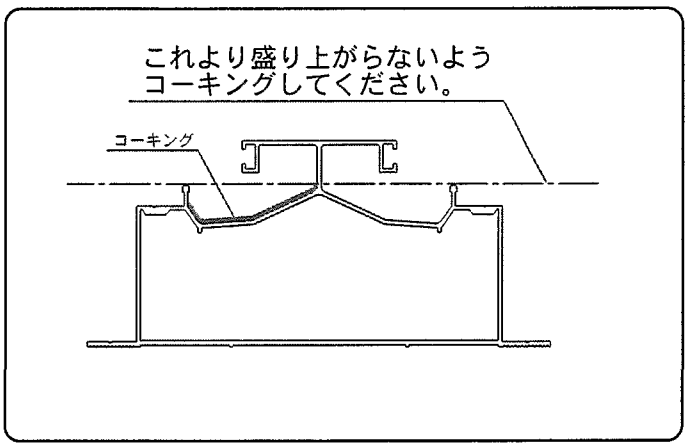
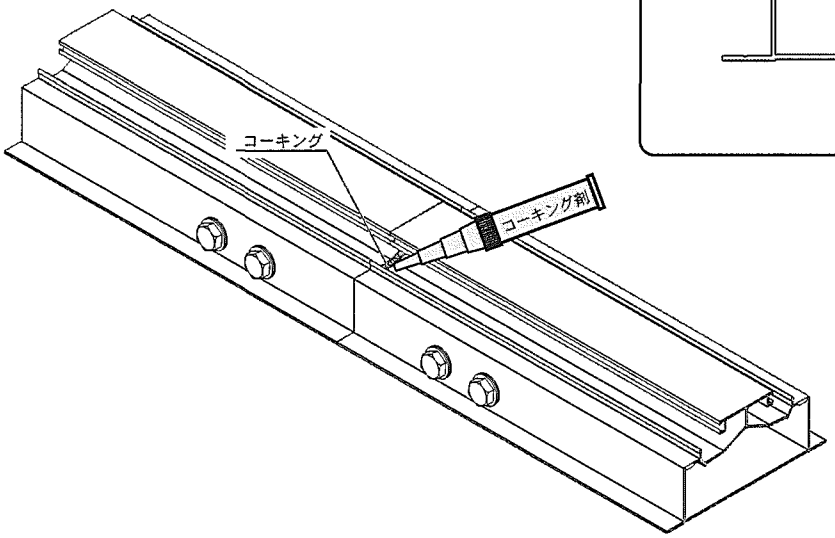
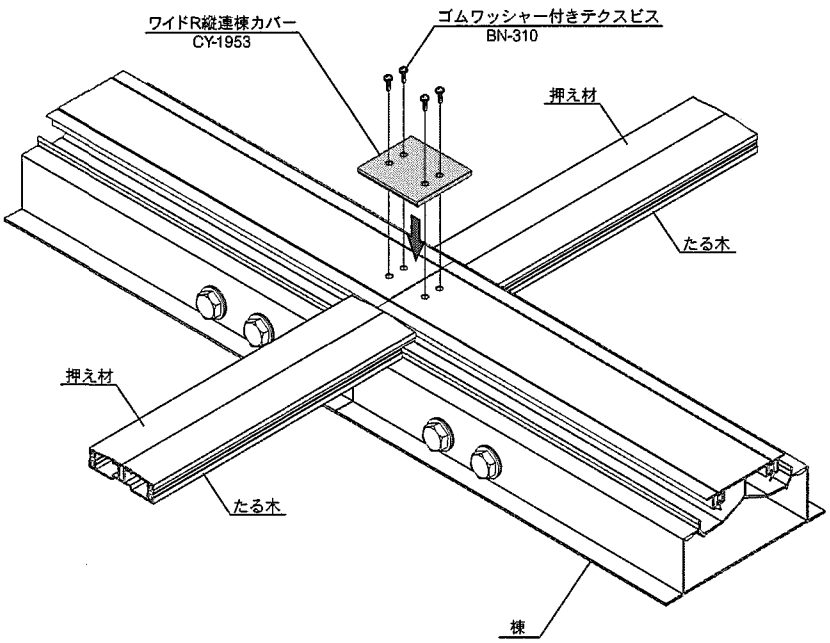
⑥ 下図を参照して棟、後枠、母屋を連結してください。

⑦ 各部のねじれの発生がない様ご注意ください。

● 棟連結部に図の様にパッキンを貼付けて棟連結ブラケットを差し込んでください。





⑧ 棟連結部にコーキングを施してください。

⑨ 棟連結カバーを取付けてください。
⑩ 本取付説明書7ページを参照して側枠、たる木の取付け、屋根材及び押え材の取付けを行ってください。